

2026年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	演習Ⅱ		
担当教員名	金子 輝雄		
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係			
	DP1	DP2	DP3
	○	○	○
科目のテーマ	<p>企業会計制度・法人所得課税制度に関する研究 演習Ⅰに引き続き研究をさらに発展させるべく財務会計制度 または法人所得課税制度における諸問題に関する理論研究を行う。</p>		
科目内容・方法等	<p>博士論文の作成に向けて、履修者と相談・議論しながら以下の内容で進めたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 演習Ⅰの研究成果を学会にて報告をするための準備（エントリー）を行う。 2. 予稿集および報告資料の作成。 3. 本報告。 4. フィードバック（学会報告での質疑応答を踏まえて推敲する）。 5. 学会誌への投稿。 <p>学位の取得のためには上記1から5の作業が数回求められる。</p>		
到達目標：			
演習Ⅰで見出された課題に取り組み、内容をさらに発展させる。			
評価方法及び評価基準：			
課題に対する取り組みと討論の状況による。			
60点未満をF、60～69点をC、70～79点をB、80点以上をAとし、C以上の評価に単位を与える。			
＜各評価の基準＞			
A評価：授業内容を応用できるのみならず、批判的にとらえることを含めて、当該理解をさらに発展させられること			
B評価：授業内容の理解に基づいて、より広いケースにその理解を応用できること			
C評価：授業内容について、概ね理解していること			
授業の方法：			
文献の輪読と討論。			